

社民党神奈川県連合主催

## 時局講演会

### 又市党首&福島みずほ副党首 講演会

9月16日(日)、横浜水道会館において「時局講演会」(主催 社民党神奈川県連合)が開かれました。講師は又市征治社民党党首と福島みずほ副党首。前段は8月29~30日に開催された「イスラエル軍事見本市」に抗議する党川崎市連合によるスライド上映と、先に来春の統一自治体選挙で一次公認された6名(金子豊貴男・相模原市会、森ひでお・横浜市会・中区、高橋八一・藤沢市会、相原りんこ・藤沢市会、久永とおる・茅ヶ崎市会、北原さとし・伊勢原市会)による決意表明。



講演する又市征治社民党党首



「イスラエル軍事見本市」に抗議する党川崎市連合によるスライド上映



講演する福島みずほ副党首



来賓の道田哲朗神川  
平和運動センター事務局長



立候補を予定している6人、中央は又市征治社民党党首

#### ▶又市党首は講演で

モリ・カケ疑惑の真相、アベノミクス政策の失敗、消費税増税問題、原発推進政策、改憲議論などをあげ、「安倍総理はモリ・カケ疑惑、働かせ改悪にある通りゴマカシを追及されるとデータを隠し、改ざんし、役人は忖度し虚偽議論を繰り返す、もはや国会は民主主義の根幹がくずされているところまで来ていて前代未聞。甚大な被害を起こした西日本豪雨、北海道地震など顧みることなく自民党総裁選



講演に聞き入る参加者



挙に明け暮れる安倍総理。ウソとテララメの・腐敗の政治をこれ以上許してはいけない。法人税の減、社会保障費の削減、格差拡大、軍事費の加速度的な増、労働者の賃金削減、犯罪の増加、これでは購買力低下どころか国民生活は破たんする。自民・公明・維新による巨大与党に対し、社民党をはじめとする立憲野党は小委を捨て大同につ

き、社民党・労働組合・市民が一体となって大衆連動を盛り上げ、危険な安倍政権打倒、憲法改悪を許さない、改憲させない闘いをしっかりやらなければならぬ」と訴えました。

▼福島副党首は  
①高度プロフェッショナル問題点 ②IR法(バク子解禁法)の問題点 ③水道法改悪案などをあげ、



高橋八一氏(藤沢市会)



金子豊貴男(相模原市会 南区)



森ひでお氏(横浜市会 中区)



久永とおる氏(茅ヶ崎市会)



相原りんこさん(藤沢市会)



北原さとし(伊勢原市会)



閉会の挨拶をする佐々木克己県連合副代表



「働き方改悪法案であまりにひどいデータ改ざんで裁量労働制は削除させたが高プロは強行採決で成立させられた。これにより労働時間の規制のない労働者が初めて誕生してしまった。今後過労死促進法、残業代ゼロ法など企業にも働きかけ、作動させない、廃止法提出なども考えていく。バク子解禁法は、現在国内では北海道、横浜、愛知、和歌山、大阪、長崎など6カ所が候補に上がっている。外資系でいえばラスベガスサンズ(トランプ大統領への多額の寄付ある)が入ってくるのが考えられるが、横浜にカジノはいらない!という運動を更に広げていく。水道法改悪法案で言えばキッパリ反対。憲法9条の3項に自衛隊を明記するということは9条1項、2項の限定的に集団的自衛権の行使を認め、災害救助の自衛隊でも国土防衛のための自衛隊でもなく集団的自衛権行使の自衛隊そのもので絶対に許してはならない」と警鐘を鳴らしました。最後に来春の統一自治体選挙の一次公認は6名だが、まだ二次公認があります。政治は基礎自治体から始まる。是非立候補してほしい」と訴えました。

## 安倍政治のネライは

経団連の利益優先

カジノ法そして9条改憲

戦争のできる国づくり

参加者からは安倍政権の現状、彼らの真のネライがわかり易く解説され良かったとの声。党員、労組員、市民団体含め100名が集まりました。